◇◆◇◆◇◆

3 内容 公開授業 5年生 学級活動(3)ウ
　　指導助言 佐藤学 教科調査官
4 連絡 東京都小学校キャリア教育研究会副会長
　　荒川区立峡田小学校 松本 典之 校長先生
　　電話 03−3891−2051

◇大田区立矢口東小学校研究発表会
1 日時 令和7年11月6日(木)13時30分から16時30分
2 場所 大田区立矢口東小学校
3 内容 研究主題「自分からやってみよう!と思える児童の育成」〜「気付く・伝える・チャレンジする・つなぐ」を意識したキャリア教育の実践〜
　　公開授業・研究報告(分科会)
　　パネルディスカッション「キャリア教育、はじめの一歩」
　　藤田晃之先生 長田徹先生 矢口東小学校教員
　https://www.ota-school.ed.jp/yaguchihigashi-es/
4 連絡 上記ホームページ、学校まで

◇杉並区立富士見丘小学校
1 日時 令和7年11月7日(金)13時45分〜15時55分
2 場所 杉並区立富士見丘小学校
3 内容 研究主題「キャリア教育の推進」〜すべての子どもが、なりたい自分になるように〜
　　公開授業・研究発表
　　指導講評・講演 藤田晃之先生
　https://www.suginami-school.ed.jp/fujimigaokashou/
4 連絡 上記ホームページ、学校まで

◎全国小学校キャリア教育研究協議会のお知らせ 多数のご参加をお待ちしています。
◇令和7年度全国小学校キャリア教育研究協議会福島大会
1 日時 令和7年12月5日(金)
2 場所 福島県棚倉町立棚倉小学校
　https://tanagura.fcs.ed.jp/tanagura-es/

◇令和7年度全国小学校キャリア教育研究協議会静岡大会
1 日時 令和8年2月6日(金)
2 場所 静岡市立中田小学校
　https://nakada-e.shizuoka.ednet.jp/

全国小学校キャリア教育研究協議会 https://school-careereducation.com/
上記ホームページに、各学校の1次案内を載せています。ぜひご覧ください。

◎滋賀県キャリア教育部会夏季研修会まとめ

（会長 草津市立老上西小学校長 廣瀬智彦）

研究主題「個別最適な学びを実現するためのキャリア教育の実践」

1 日時 令和7年7月30日（水）13時～16時30分

2 場所 滋賀県立男女共同参画センター G-NET しが

〒523−0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町80−4

3 内容 ・小学校部会・中学校部会実践報告

・記念講演「キャリア教育の今とこれから」筑波大学教授 藤田晃之先生

4 実践報告

①小学校部会実践報告

小学校部会からは令和6年度、瀬田小学校の実践「“なりたい自分”になるために」をテーマに①自分の役割や責任を果たし、役立つ喜びを体得する。②集団の中で自己を生かす。③社会と自己とのかかわりから自らの夢や希望をふくらませる。ことを目的とした5年生「5・5交流」を核にした実践を発表しました。40回を超える交流を通して児童は成長し、主体性が高まったり、自分たちの役割を果たすことによって得られる有用感や達成感を味わったりすることができた様子。児童の「とにかくやってみたい！」を大切にしながら、交流の拡張性を広げられました。課題としては、この取り組みが持続可能なのかは検討が必要であり、どのようにすると続けていけるか。令和7年度は6年生となり、「SET A future！」をテーマとし、学校内でキャリア教育の実践を進めています。

②中学校部会実践報告

目指す姿の共通理解のために基礎的・汎用的能力の可視化の取組についての発表をしました。「基礎的・汎用的能力」は教員のみが理解するのではなく、生徒自身が中学3年間、あるいは各学年において目指すべき姿を具体的にイメージできることが大事であり、生徒自身が身につけるべき力を理解しておくことで、日々の生活の中で振り返りの視点をもち、自分の状況を主体的に分析することにつながるということ。守山北中学校2年生では、学年集会においてこの能力について生徒に説明し、学年掲示板にも掲示しています。生徒と教員が共通理解をもつことで、同じ方向を見据えながらキャリア教育を進める環境づくりが実現できました。「ピア・サポート」の取組にも力を入れて実践を進めています。

5 記念講演「キャリア教育の今とこれから」 国立大学法人筑波大学 藤田 晃之様

～キャリア教育の現在地を確認しよう～

各学校が「うちの子たちに身につけさせたい力」を設定することが重要であるというお話をいただきました。それは学校や地域の特色、専攻分野の特性や子ども・若者の発達の段階によって異なり、各学校においては、4つの能力を参考にそれぞれの課題を踏まえて具体の能力を設定し、工夫された教育を通じて達成することが望まれるということ。目の前の子どもたちの現状を踏まえた具体的な目標の設定や指導の在り方について、学校や教員の裁量に基づく多様な創意工夫と、これらの力が「身についたかどうか」の検証をすることが大切であるというお話を聞きました。

6 研修会を終えて

小中学校の取り組みや藤田先生のお話を聞くことで、自分たちの学校・目の前にいる子どもたち・今の取り組みについて見直すことができました。また、他府県との先生方とも交流することができ、非常に有意義な1日にすることができました。今後とも全国の先生方とのつながりを大切にしながら研究を深めていけたら幸いです。

7 参加者の感想

大津市立瀬田小学校の取組では、児童自らが自分のやりたいことを見つけ、企画・準備をし、実行・実施するというとても主体的な児童の姿が伝わってきました。

「こんなことをしたい」「こんな自分になりたい」という思いをとても大切にされていると思いました。中学部会の取組では、調査結果から分析したことをもとにして、

生徒へのピアサポートをしていくという、非常に計画的に進めておられることに感銘を受けました。

筑波大学藤田先生の講演では、「キャリア教育の今とこれから」という演題で、これまでのキャリア教育を振り返り確認できたり、今後の取組の指針となることを学んだりすることができました。

◎全国小学校キャリア教育研究協議会の新ホームページについて

本研究協議会の新ホームページには、各地域の様子を報告しあう各地方、都道府県ごとのページを設ける予定です。教育委員会主催の研究会やキャリア教育を大切に思う有志の集まりなど，数人から数十人で活動されている方はぜひご連絡ください。一方通行のホームページから交流、連絡に使えるホームページをめざして充実させたいと思っています。ぜひお気軽にホームページ作りにご参加ください。

◎編集後記

夏休みを終え、新たな気持ちで学校生活がスタートしています。
今回は第7号として秋の公開授業や全国大会の予定、
滋賀の研修会のまとめと参加者の感想をお伝えしました。
秋から冬は研修会や大会が目白押しです。
予定をうまく調整して、ぜひご参加ください。

このメールは本会主催の全国大会へ参加いただいた方、本会の会員が名刺交換させて
いただいた方などにお送りしています。配信中止をご希望される場合は、お手数ですが、
その旨をご記入の上、本メールに返信をお願いします。

◇◆◇

発行：全国小学校キャリア教育研究協議会
https://school-careereducation.com/

会長：石田 淳（京都市立紫明小学校）
https://cms.edu.city.kyoto.jp/weblog/index.php?id=101004

副会長：津田 利枝（荒川区立ひぐらし小学校）
https://www.aen.arakawa.tokyo.jp/HIGURASHI-E/

◇◆◇